

高齢者等共同仮設住宅 あじさい館 1号棟・2号棟

高齢者等共同仮設住宅は、被災した独居高齢者等が恒久住宅に移るまで、安心して生活ができることを目的として建てられました。大槌町が設置して、運営を社会福祉協議会が受託し、平成23年9月から運営を開始しています（他に2ヶ所あり、2法人が運営している）。

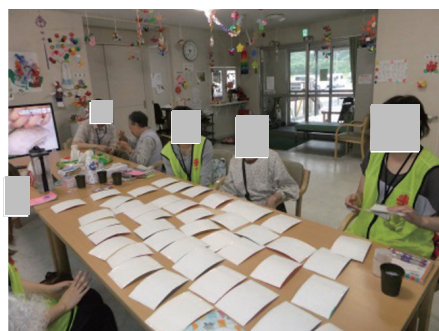
1棟に10部屋あり、各部屋は6畳ほどの広さで、洗面台があります。台所・食堂・トイレ・お風呂は共同です。入居対象者は、身の回りのことは自分でできる、概ね自立の方です。入居の主な理由は、震災後、入院等で体力が落ちて一人暮らしに自信がない、障害があるため仮設住宅に独りで住むのは不安がある等です。

入居者推移

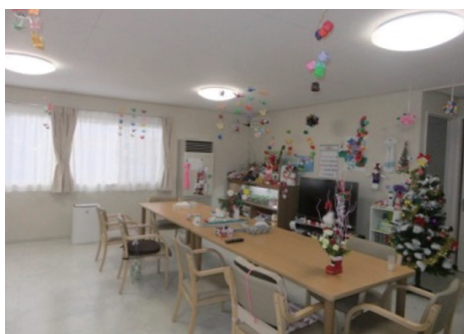
期 日	内 容	説 明
平成23年9月17日	あじさい館 2号棟開所	2号棟 入居者 4名
平成24年2月28日	あじさい館 1号棟開所	1号棟 入居者 3名 2号棟 入居者 6名
平成26年3月	現在の入居者数	1号棟 入居者 7名 2号棟 入居者 8名



あじさい館 1号棟



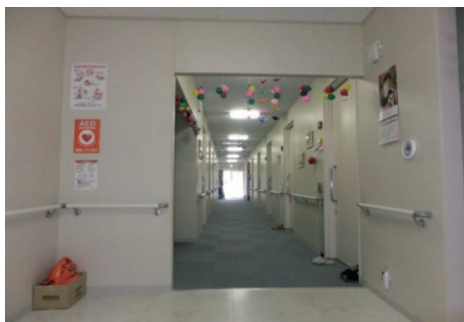
ボランティアの訪問



施設内の様子①



避難訓練の様子



施設内の様子②



交流会の様子